



年 組 名前

道新 ワークシート

地域から

ぬる〜い。温泉の光と影

①

「粉雪」と並ぶ集客源に

ニセコ地域のスキーリゾートの中心、

空前のブーム

後志管内倶知安町ひらふ地区のコンドミニアム「ハク・ヴィラス」。ガラス張りの真新しい建物に併設された源泉掛け流

ひらふ地区は今、空前の温泉ブームだ。道の温泉掘削許可は2014年度までの年1件程度から近年、申請が急増。19年度の許可は10件、20年度7件、本年度

は9月までに11件と年度別最多を更新した。同地区ではホテルなど二十数カ所の温泉が稼働中、さらに二十数カ所が開業を目指しており、12月で開業2年のハク・ヴィラスなど先行施設は「ライバル」が掘削、開業する前のPRに躍起だ。

後志総合振興局によると、19年度の倶知安町の外国人宿泊客数は延べ39万1千人。中国や香港などアジア地域が10年前の3倍以上、全体の半数を超える。20年度はコロナ禍で同2万人に激減したが、今後の感染状況改善と客足回復を見込み投資熱は高まり続けている。

だが、開発の副作用とみられる状況も現れ始めた。道の調査では、ひらふ地区中心部の源泉の水位は16〜19年に10以上低下。温泉枯渇を懸念し、道は9月、改正温泉保護対策要綱を施行し、同地区中心部の新規掘削を原則禁止としたが、施行前に掘削の権利を得ようと駆け込み申請が生じた。本年度の許可急増には、そんな背景もある。

枯渇の懸念も

山の雄姿が一望できる。海外富裕層向けの米旅行専門誌などで活動する米国人ライター小塚ジェシカさん(41)は今夏、施設側の招待で取材に訪れ、1泊300万円の特別室を満喫した。「豊富なミネラルを含む湯と美しい景色は、今や海外でもパウダースノーに並ぶニセコの象徴だ」

発信

倶知安
ニセコ
蘭越



羊蹄山を一望するハク・ヴィラスの温泉露天風呂。今年は複数の海外メディアを受け入れた

温泉掘削を行うアサノ大成基礎エンジニアリング北海道支社(札幌)は「5年ほど前からアジア系事業者からの発注が急増し、すべてには応えきれない」と言う。事業者側からすれば、冬の方が感染リスクが高いとされるコロナ再流行の懸念もある中、通年集客できる温泉開発で「粉雪頼み」の収益構造を見直す狙いもあるとみられる。

掘削申請は近隣の規制対象外の同町花園地区やニセコ町でも相次ぐ。ひらふ地区の老舗ホテル経営者は「既存の温泉に影響が出るのでは」と不安を募らす。温泉ブームがもたらす光と影。その余波がニセコ地域に広がり始めている。(倶知安支局の高橋祐二が担当し、3回連載します)



年 組 名前

道新ワークシート

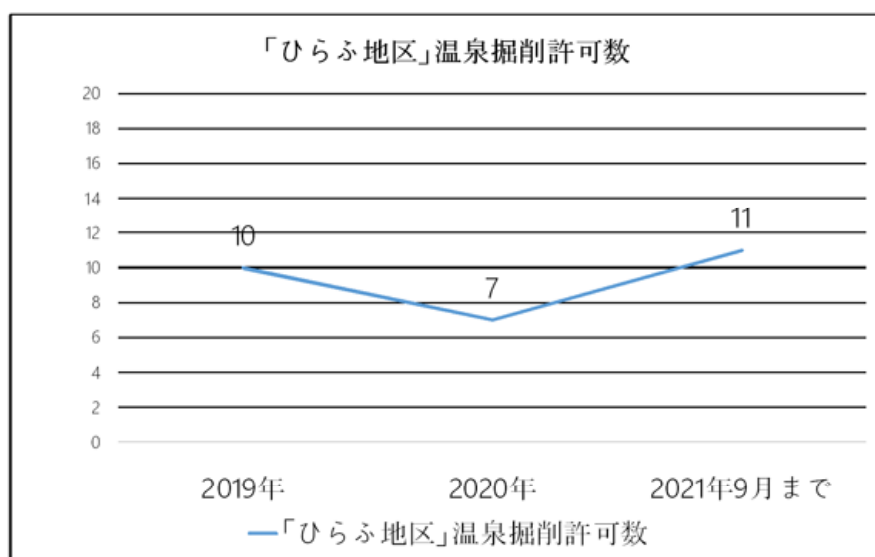
- ①記事の中の情報をふまえ、下記のグラフで表された掘削数を参考にしながら今後の掘削数を予想し、「増える」・「なくなる」のどちらかを選びなさい。そして、その根拠を記事の内容を参考にして答えなさい。

増える ・ なくなる

根拠

※参考

以下は、記事を元にひらふ地区の温泉掘削許可数を線グラフに表したもの



②傍線部の「光と影」について、

1. 「光」とは具体的に何を指していますか。次の文の空欄に適する言葉を、記事の中から抜き出して答えなさい。

A による集客で B を目当てにしたスキー客に頼っていた収益構造が見直される。

2. 「影」とは具体的に何を指していますか。記事の の中から漢字4字で抜き出して答えなさい。